

東亞合成株式会社 広野工場概要



広野工場データ

工場敷地

約 48,600m²

建物延べ床面積

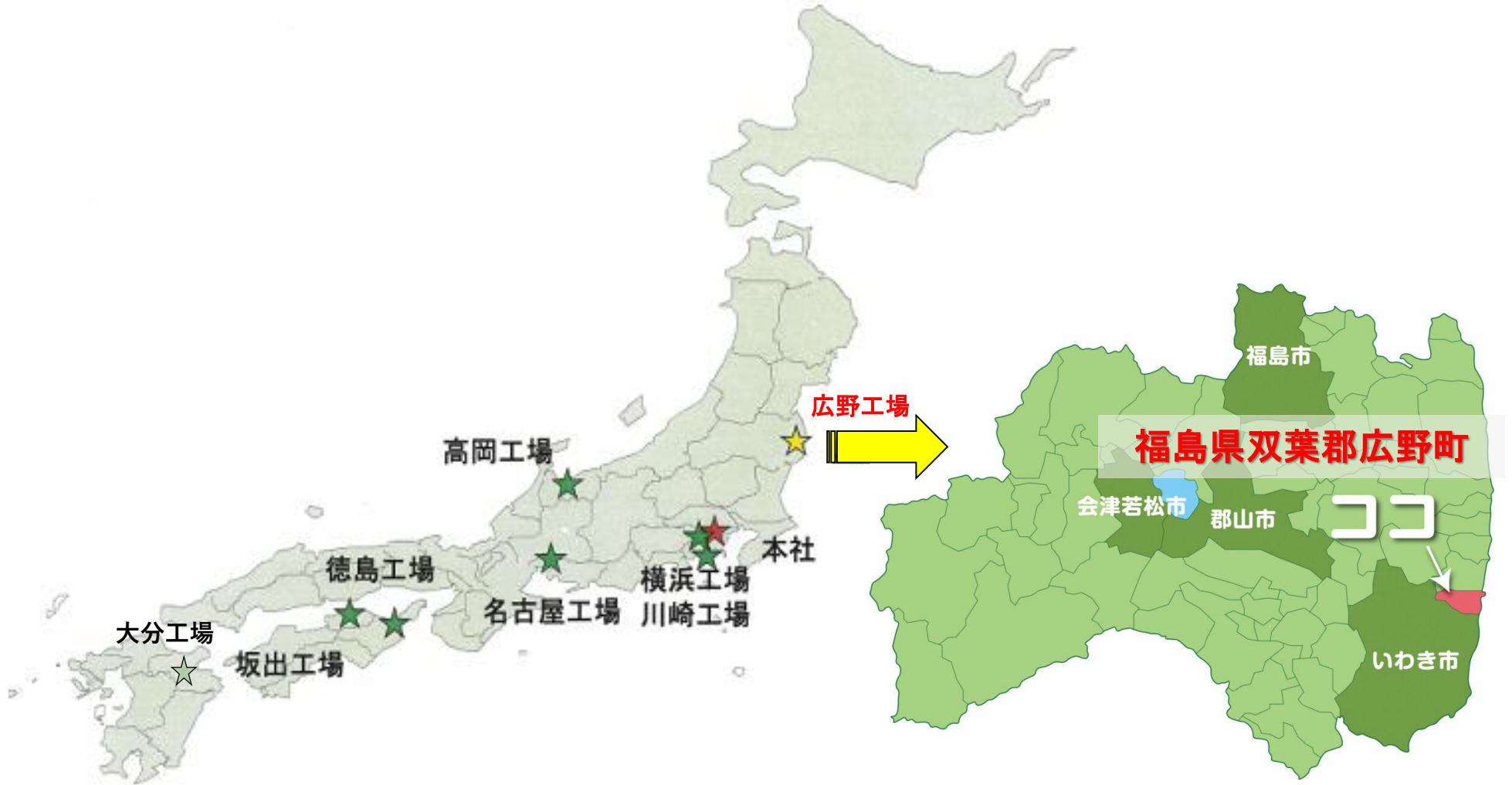
約 7,800m²

従業員数

68名(2024年5月現在)



広野工場 の位置



広野町

◆面積:約58.7Km²

東西約13Km、南北7Km

◆気温 年平均気温13.2℃

(最高気温27.7℃、最低気温-1.3℃)

◆人口:約4,660人(世帯数2,263世帯)

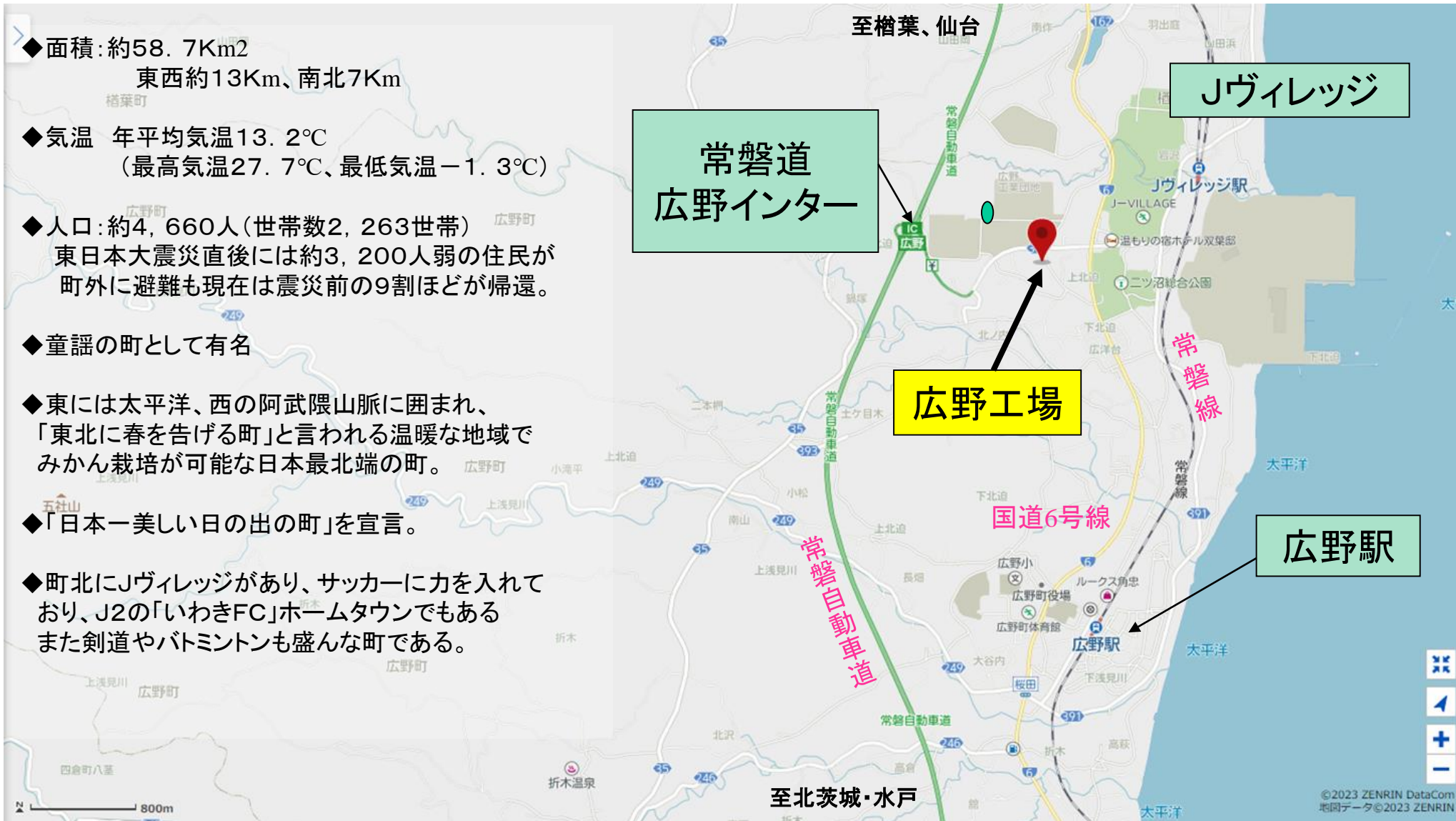
東日本大震災直後には約3,200人弱の住民が
町外に避難も現在は震災前の9割ほどが帰還。

◆童謡の町として有名

◆東には太平洋、西の阿武隈山脈に囲まれ、
「東北に春を告げる町」と言われる温暖な地域で
みかん栽培が可能な日本最北端の町。

◆「日本一美しい日の出の町」を宣言。

◆町北にJヴィレッジがあり、サッカーに力を入れて
おり、J2の「いわきFC」ホームタウンでもある
また剣道やバドミントンも盛んな町である。



広野工場組織図



広野工場の沿革

- 1944年10月 日本純薬株式会社設立。分析用試薬、高純度薬品製造販売。
- 1954年 6月 東亞合成化学工業（株）の系列会社となる
- 1957年 8月 鶴見工場を建設
- 1961年12月 本社社屋完成（日本橋）
- 1999年 7月 広野工場新設
- 2002年 9月 ISO9001 全社マルチサイト認証取得
- 2003年 1月 高岡工場を東亞合成(株)から改組し設立
- 2005年 1月 鶴見工場設備を広野工場へ集約、鶴見工場閉鎖
- 2006年 9月 ISO14001 全社マルチサイトにて 認証取得
- 2008年 3月 本社移転（新橋 東亞合成ビル内）
- 2009年 1月 営業部門・業務部門を東亞合成に統合、生産子会社となる
- 2009年12月 高岡工場閉鎖
- 2013年 1月 東亞合成(株)と合併、東亞合成(株)広野工場となる

●ポリアクリル酸を中心としたアクリル系ポリマー

1. 医薬品・医薬部外品原料
増粘剤、ゲル化剤、粘着付与剤
2. 化粧品原料
増粘剤、ゲル化剤、滑剤、懸濁化剤、バインダー
3. トイレタリー製品原料
分散剤、増粘剤、懸濁化剤
4. 機能性高分子製品
粘着剤、塗料基材、コーティング材、
機能性微粒子

広野工場製品の用途例

皮膚形成剤 ジュリマーATシリーズETシリーズ

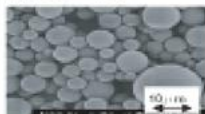


耐水性の高い皮膚が形成可能

- アイライナー、
- アイシャドウ、
- マスカラ等用の皮膚形成剤

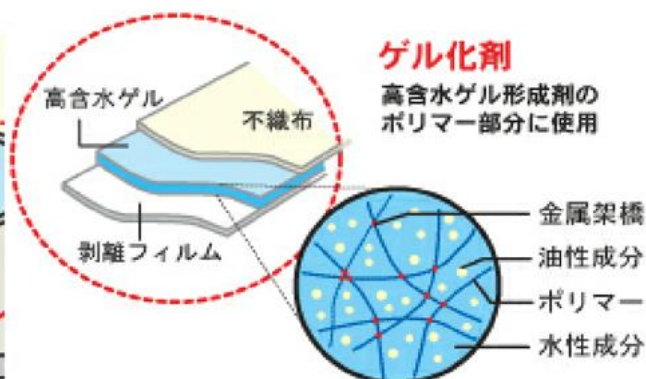
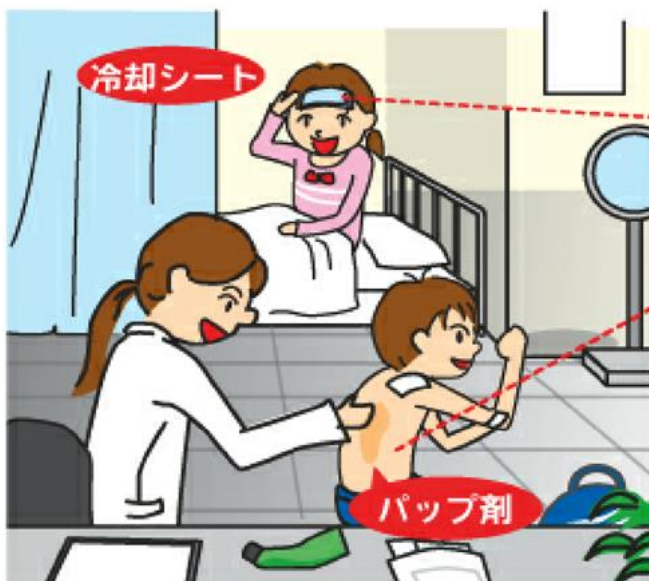
充填剤・滑剤 ジュリマーNBシリーズ

完全球状超微粒子。無色、透明、サラサラした感触を付与することができる。



増粘剤 アロンビス、ジュリマー、レオジック、ジュンロン

乳液、クリーム、ローション等の化粧品をさまざまな粘度に調整可能



- アロンビス：基材（粘着剤、保水剤）
 - ジュリマー：粘着増強剤
 - ジュンロン：賦形剤（不織布の裏抜け防止用）
 - レオジック：賦形剤（不織布の裏抜け防止用）
- 上記製品に架橋剤、保湿剤、薬効成分等をブレンドすると水含水ゲルとなります。
（配合例は技術資料参照）